

「野鳥との出逢い」

和田 麻理

野鳥の会に入会して1年が過ぎました。

あるタレントが「野鳥の会」に入会したというネットニュースを目にし、探鳥会に参加したのがきっかけとなりました。

初めて参加した探鳥会は、春先の逢瀬公園でした。息子が幼い頃、幾度となく通った公園でしたが、普段運動どころか歩く習慣のない私にとっては、公園内の山道を歩いただけでくたくたになってしまい、入会する気満々の夫を尻目に迷っていました。

しかし、会員のYさんからとても親切に「野鳥の会」について説明をしていただき、入会を決めました。

夏の間は草木が生い茂り、あまり鳥の姿を見られずにいましたが、野鳥初心者の私は、カルガモがちょこちょこ可愛く歩く姿に癒され、カワセミとの一瞬の出逢いには心が躍り、皆さんから聞くお話はとても勉強になり、月に1回の探鳥会が楽しみになりました。

季節が変わり秋から冬になり、野鳥の鳴き声とともに姿が見られるようになると、俄然楽しくなってきました。少しずつではあるけれど鳥の種類も覚え、例えば「キツツキ」を一括りにしていたけれど、コゲラやアオゲラ、アカゲラなど様々な種類がいることを知りました。

色彩豊かな野鳥に感動したり、シジュウカラやヤマガラも可愛くて見ていて飽きません。

自宅にいと、カワラヒワが電線にとまって鳴いている姿、裏庭から聞こえるキジバトなど日頃から野鳥の姿や鳴き声に関心を持つようになりました。

月一回の探鳥会の他に、夫と双眼鏡と野鳥の本を持って鳥を探しにあちらこちらに出向き、あの鳥はなんだろう?と本をめくっては、わずかな知識で鳥談義をするようになりました。双眼鏡から見る鳥の姿は愛らしく、また凛々しくもあり、多くの人にぜひ見て欲しいと思います。

近頃はスケジュールが合わず、なかなか参加で

きないのが残念ですが、探鳥会に出向くのが待ち遠しい今日この頃です。



筆者(麻理さん、何か見つけましたか)

☆ 現在の会員数

会員数 141名 (2024年9月末日現在)

支部日誌

● 2024年8月18日(日) 10:00～郡山支部運営委員会が行われ、10月19日(土)に開催予定の猪苗代湖のラムサール条約登録を目指す講演会の実施に向けた進捗状況確認と今後の課題について検討した。

● 2024年9月22日(日) 13:30～郡山支部運営委員会が行われ、令和7年度カワウ等生息状況調査業務委託に関する福島県との打合せ結果を協議するとともに、10月開催予定の猪苗代湖のラムサール条約登録を目指す講演会についての最終打合せを行った。

● 2024年10月19日(土) 13:30～猪苗代湖のラムサール条約登録を目指す講演会を福島県日本野鳥の会連携団体連合会として開催した。(講演会



主催者挨拶を行う湯浅会長

の内容、感想は3Pに掲載) 開会式には、行政機関からの参加もあり、盛会に終えた。